

原料費調整制度に基づく2024年1月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社(社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」)は、「原料費調整制度」に基づき、2024年1月検針分の単位料金を調整した結果、2023年12月検針分と比べ、1m³(45MJ)につき1.16円(消費税込)上方に調整いたします。

これにより、1ヵ月に30m³のガスをお使いになる標準家庭で2023年12月検針分と比較して、35円(消費税込)ガス料金が上がります。

なお、2024年1月検針分は、経済産業省の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」にて支援される補助金^{*1}により、15円/m³の値引きを行っております。

補助金適用前との比較では、450円(消費税込)ガス料金が引き下げられています。

2024年1月検針分に適用するガス料金については、東京ガスのホームページ等であらかじめお知らせいたします。

*1 2023年9月検針分までは30円/m³の値引き単価、2023年10月検針分からは15円/m³の値引き単価となります。詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)をご覧ください。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)						
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～20m ³	料金表B 21～80m ³	料金表C 81～200m ³	料金表D 201～500m ³	料金表E 501～800m ³	料金表F 801m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m ³)	158.73	143.88	141.68	138.38	129.58	121.88
(参考) 補助金適用前 調整単位料金 (円/m ³)	173.73	158.88	156.68	153.38	144.58	136.88
(参考) 12月 調整単位料金	157.57	142.72	140.52	137.22	128.42	120.72

2. 標準家庭における影響

(消費税込)				【参考】補助金適用前	
1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2023年12月 ^{*2}	2024年1月 ^{*2}	増減	2024年1月 適用料金	補助金適用 前後の差
適用料金(円/月)	5,337	5,372	35	5,822	485

・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度～2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。

・口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

*2 補助金適用により、15円/m³値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2023年7月～2023年9月 の平均 (12月 検針分)	2023年8月～2023年10月 の平均 (1月 検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	87,910	89,210	1,300
LNG	88,310	89,220	910
LPG	76,850	84,950	8,100
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	30,600	31,900	1,300

- ・ LNG価格、LPG価格とともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && 89,220 && \times 0.9479 \\ + & \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && 84,950 && \times 0.0546 \end{aligned}$$

89,209.90

↓(10円未満四捨五入)

89,210 円/t

■ 原料価格変動額の算定

$$89,210 \text{ 円/t} - 57,250 \text{ 円/t} = 31,960 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

31,900 円/t

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定 (補助金適用前)

$$\text{単位料金調整額} = 31,900 \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.0891^{*3}$$

(補助金適用前)

$$= 28.42 \text{ 円}^{*4}$$

*3 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*4 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定 (補助金適用後)

$$\text{単位料金調整額} = 28.42 \text{ 円} - 15 \text{円} = 13.42 \text{ 円}$$

(補助金適用後)

5. 標準家庭料金の算定方法

東京地区等

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,056.00円)} \\ &+ \text{調整単位料金(130.46円)} + 13.42 \text{ (円)} \times 30 \text{m}^3 \\ &= 5,372 \text{ 円} \end{aligned}$$

↑ 単位料金調整額(税込)
・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。